

1, 不登校問題、特別な支援を要する学びの場について

【目的】

茨城県における、令和4年度の不登校児童数生徒数は8577人となり増加傾向である。

また、特別な支援や指導が必要な子どもが、小・中学校に入学する際、通常の学級のほか、特別支援学校、特別支援学級、通級指導教室にどのような学びの場が必要とされているのか？

関係者との意見交換、フリースクール調査等、不登校問題解消、様々な学びの場を、今後の県政への提言につなげる。

【活動時期】

令和5年4月～令和6年3月

【活動内容】

「不登校・多様な学びネットワーク茨城」の役員さんとの意見交換、フリースクールの実情について現地地調査も含めて意見聴取。

特別な支援や指導が必要な学びの場の一つである「言語障害通級指導教室」「情緒障害通級指導教室」

「LD/ADHD 通級指導教室」等について、親御さんとの意見交換や水戸市教育長や関係者らと意見交換を行う。

【成果】

不登校問題については、今年度、一般質問等の機会がなく、機会を見て質問し提言をして参ります。

通級教室については、「LD/ADHD 通級指導教室」は水戸市内では小学校しかない状況で、中学校進学時について昨年からご相談をされており、県教育長などに陳情したことにより、今年度4月から水戸三中において県内で初めての「LD/ADHD 通級指導教室」が開設され、さらに県内で必要とされる市町村に働きかけて参りたいと思います。

2、茨城県農水産物のブランド力発信についての調査

【目的】

茨城県の農水産物は産出額が全国でも上位を占めるものが多い中、ブランド力としての発信が上手に機能していないことから魅力度調査でもワーストと茨城県が一番の魅力である「食」について反映されていません。茨城ブランドの効果的発信を目的として調査に取り組みました。

【活動期間】

令和5年4月～令和6年3月

【活動内容】

- ① 「常陸乃国いせ海老」関係者に意見聴取。
- ② 常陸牛振興協会長や肥育業者から「常陸の煌き」の生産状況を意見聴取しながら、牛舎視察。
- ③ 「茨城をたべよう」取扱店より意見聴取。
- ④ 「和牛甲子園」に出場した水戸農業高校関係者より意見聴取。
- ⑤ 「いばらきセンス」や茨城県出身の東京店主らに、現地調査及びに意見聴取。

【成果】

R5年度の営業戦略農林水産委員会において、飼料高騰対策、常陸の知名度調査、常陸牛の認知調査、いばらきセンスの今後の取り組み、茨城県産の農林水産物ブランドの発信の仕方など、多くの諸問題について常任委員会で提案をさせていただき、それぞれ改善がなされていると認識しています。

「常陸」の知名度調査は実施され、多くのマスコミで取り上げられ、あらためて「常陸」の知名度の低さを認識することができました。

令和5年度政務活動実施成果報告書

会派・議員名 神秋会 秋 嘉一

政務活動の主な内容、成果等

令和5年11月13日～11月15日
台中港 視察研修（鹿島港振興協会 主催）

（1）台中港

<港勢>

	台中港
開港年	1976年（昭和51年）
港湾管理者	台湾港務株式会社
取扱貨物量（2020年）	12,900万トン（日本国内2位の千葉港並みの水準）
取扱品目	エネルギー関連、コンテナ、在来貨物、旅客、クルーズ 等
コンテナ取扱量（2020年）	182万TEU（日本国内5位の大阪港に次ぐ水準）
洋上風力関連	<ul style="list-style-type: none"> ・台湾政府は、2025年までに洋上風力の導入目標を達成するため、洋上風力発電の拠点エリアとして「台中港」を選定。 ・台中港は大水深岸壁を有し、エネルギー関連やコンテナ、在来貨物、旅客、クルーズ等の取扱が多く、近年では、洋上風力発電の拠点港としての役割も担っている。 ・洋上風力発電に関連して、プレアッセンブリ拠点、O&M拠点、生産拠点、訓練拠点がそれぞれ計画、整備され、計画的に洋上風力関連産業の展開が進んでいる。 ・台湾の港湾運営は、国が100%出資する「台湾港務株式会社（TIPC）」が担っており、台中港も同社が管理、運営を行っている。また、国の取組を推進するため、洋上風力発電に関連する環境整備も担っている。 ・台中港周辺では、洋上風力発電設備の工場進出など生産拠点に向けた動きが活発化している。（主な進出企業：SGRE社（シ-グス）、Vestas社、CS Wind社 等）

(2) 訪問／視察対応先の概要

①台湾港務株式会社 (Taiwan International Ports Co., LTD)

台湾港務株式会社は2012年3月1日に発足した、100%政府出資による株式会社。高雄、基隆、台中、花蓮の4大港湾とその周辺地域の港湾行政は、従来交通部の各港務局が管轄してきたが、各港を統合して台湾港務株式会社が一体的に運営を担うこととなった。

高雄港、基隆港、台中港、花蓮港にそれぞれ支社が設置され各港を担当している。

②萬海航運股份有限公司 (Wan Hai Lines, Ltd)

台湾国内で3位、世界では11位となる規模を持つ大手船社。

基隆港、台中港、高雄港の各港に専用となるコンテナターミナルを設置し、2022年時点で68の航路と84の寄港地を有しており、2020年には90隻(26万TEU)の保有船を運航する。

③天豊新能源股份有限公司 (Skyborn Renewables Taiwan Co., Ltd)

台湾の離岸風力発電の開発と管理を行う。台湾の離岸風力発電市場において、Skyborn Renewables、Sojitz Corporation、EGCO Group、TotalEnergies Groupというパートナーと共に、640MWの雲林離岸風力発電所を建設している。グローバルな脱炭素化の先駆者として、離岸風力発電の普及を加速させており、台湾の離岸風力発電のローカライゼーションを推進している。

④台湾風能訓練股份有限公司 (Taiwan International Windpower Training Corporation)

台湾港務有限公司、台湾電力公司、台湾英国風力発電、チャイナスチール、台湾国際造船、豊瑞エネルギー株式会社などが設立した合弁会社で、地元の風力発電人材を育成し、風力発電技術をローカライズして台湾の洋上風力発電市場への扉を開くことを目的としている。

<本研修を終えての感想>

台中港全体をみると、国策としての意識の高さを感じた。コンテナ受入強化にしても、風力発電事業拡大に関しても、国をあげて全力投球をしている。むしろ日本よりも先進的な部分が多いと感じた。そしてなによりも世界からの注目度が高い。

本県に於いても、それぞれ特色、役割を持った重要港湾が存在しているなか、今まで以上に、港湾需要を高めるための構想をしていかなければならないと思う。毎年度限られた予算執行や国の補助金を活用していくなかで、長期的且つ具体的構想が必要と感じる。その充実が、恒久的に「企業に選ばれる茨城県」となり、様々な面において人口減少のリスクを軽減できるのではないだろうか。

令和5年度政務活動実施成果報告書

会派・議員名 はやとの会 中村はやと

政務活動の主な内容, 成果等

古河市三和地区尾崎、境間々田線における補修について

1. 目的

古河市三和地区尾崎において、日野自動車関係の交通が著しくなり振動および騒音の相談があった。現地調査を行い改善する。

2. 活動期間

令和5年11月から12月

3. 活動内容

近隣住民に対する聞き取り調査や、境工事事務所職員との連携しながらの現地調査を行った。

4. 無事工事完了し、住民の皆様からの連絡もあった。



令和5年度政務活動実施成果報告書

会派・議員名 はやとの会 中村はやと

政務活動の主な内容, 成果等

古河市雷電町雷前町公民館周りの表示引き直しについて

1. 活動期間

令和5年12月

2. 内容

経年変化により住民の皆様から一時停止表示が見えなくて危ないとの連絡を頂いた。茨城県警察と協議のもと、早速補修に入った。

3. 成果

無事に補修完了。住民に報告済み。



令和5年度政務活動実施成果報告書

会派・議員名 かすみがうらの会 金子敏明

政務活動の主な内容、成果等

・医療提供体制及び健康危機管理体制の構築について

1 目的

我が国の社会保障制度の状況及び医療提供体制に係る先進的な取組について、意見交換や調査を行い、今後の県政への提言につなげる。

2 活動時期

令和5年4月～令和6年3月

3 主な訪問（活動・調査）先

令和5年11月2日：地方議員研究会「アフターコロナの時代の自治体経営」受講

令和6年1月10日、17日、24日：青山社中リーダーシップ・公共政策学校「財政・社会保障」受講

令和6年2月7日：青山社中リーダーシップ・公共政策学校「危機管理」受講

その他、県内の医療従事者及び関係団体

4 活動内容

社会保障制度や危機管理、医療制度の専門家の講義を受講し、それら政策の現状とあるべき姿を調査・議論するとともに、茨城県及び県議会での対応について調査・意見交換を行った。

5 成果等

本邦では医療介護需要がピークに達しており、医療資源の適正配置が課題となっているものの、本県においては従前から医療資源が乏しいことに加え、居住可能面積が大きいことにより、医療資源の分散している。そのため、急性期医療の集約化をより一層進める必要がある一方、一般疾患の診療体制や介護体制については地域に分散させなければならない。保健福祉医療委員会において、執行部と活発な議論を行うことで、医療計画等の方向性の共有と更なる具体策の発展につなげる機会をなした。

・神立荘違法産業廃棄物ヤードについて

1 目的

神立荘違法産廃の撤去

2 活動時期

令和5年1月から令和5年12月

3 主な訪問（活動・調査）先と活動内容

かすみがうら市稲吉1丁目「神立荘」の敷地が産業廃棄物の中間処理施設をして違法に使用されていた問題。近隣住民から騒音や異臭などの訴えが挙がっていた。県担当課及び県南県民センターに要望を重ねてきた。

4 成果等

令和5年12月25日に県担当課が元請け業者に強制指導し、産業廃棄物の撤去が実現した。

・恋瀬川の堤防整備促進について

1 目的

恋瀬川の堤防整備促進と恋瀬川サイクリングコースの拡幅

2 活動時期

令和5年4月から令和6年3月

3 主な訪問（活動・調査）先と活動内容

適宜、県担当課と土浦土木事務所と意見交換を行いながら、河川行政のあるべき姿と恋瀬川河川改修の重要性について訴えてきた。

令和5年12月22日石岡・かすみがうら河川広域道路整備促進協議会で恋瀬川の堤防整備促進について、県執行部及び県議会議長に要望活動も行った。

4 成果等

令和5年第3回定例会本会議で河川改修の進捗と今後の見通しについて執行部と活発な議論を交わした。

上記も含め、主にかすみがうら市内からいただいた地域要望の対応状況について整理し、新聞折り込みチラシや郵送物を用いて県民への報告・広報を行った。